

侵略的外来種リスト(仮称)動物の検討対象種リスト(検討作業中)【哺乳類・鳥類】

1. 検討対象種の抽出

「外来種ハンドブック」日本生態学会編(2002)の外来種リスト等を元に、日本に定着している外来種をリスト化した上で以下のものについて追記を行った。
特定外来生物と要注意外来生物。(下記 ~ で抽出された種で未判定外来生物にあたるものはその旨を記した。)

IUCNのワースト100(在来種を除く全種が既に)に含まれている)。http://www.issg.org/database/species/search.asp?st=100ss&fr=1&str=&lang=EN

日本の侵略的外来種ワースト100。日本生態学会(2002)外来種ハンドブック。地人書館。

Global Invasive Species Database 掲載種を追記する。

都道府県の外来種リストに掲載されている種

北海道ブルーリスト2010, http://bluelist.hokkaido-ies.go.jp/

青森県(2006)青森県外来種対策学術調査報告書 - 青森県外来種リスト -

千葉県外来種対策(動物)検討委員会(2010)千葉県の外来種(動物)の現状等に関する報告書。

愛知県、「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(以下「条例」という。)において、生態系に著しく悪影響を及ぼすおそれのある移入種

滋賀県、生態系に悪影響を及ぼす外来種・移入種(滋賀県で大切にすべき野生生物2000年版)

京都府外来生物情報、京都府外来生物リスト

兵庫県(2010)生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物への対応、兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト(ブラックリスト)(2010)

鳥取県生物学会(2007)鳥取県の外来性動植物のリスト(2007)。山陰自然史研究3:37-45。

徳島県「徳島県外来生物リスト」

愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例に基づく侵略的外来生物の公表について http://www.pref.ehime.jp/h15800/gairaiseibutu/index.html、侵略的外来生物

佐賀県環境の保全と創造に関する条例、移入規制種、http://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1262/_33058/_33943/joureikiseishu.html

熊本県「くまもとの外来生物」

宮崎県内に生息・生育する特定外来生物等

『鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物(鹿児島県レッドデータブック)』に掲載された移入種

沖縄県、改訂版レッドデータおきなわ - 動物編 - 付属資料(沖縄県の在来の生物に対して悪影響を及ぼす要因)

都道府県の外来種リストに掲載されている種のうち、記録の不確実なものや在来と考えられるもの等はリストアップしていないものがある。

2. カテゴリー区分

(1) 定着状況

A未定着:国内への定着情報がないもの。栽培、逸出や過去の一時的な生育を含む。

B定着初期:国内への定着が一部地域(5都道府県未満程度)、定着が確認されてからの時間が短い(20年未満程度)。

C分布拡大期:国内の多くの地域(5都道府県以上程度)に定着しているが全域には拡大していない。定着が確認されてから長い時間(20年以上程度)経過しているものの一部地域に分布が留まるものを含む。

Dまん延期:全国的に分布しており、生育可能な立地・環境では普通に見られる。

E小笠原・南西諸島:地史的、生物地理学的に国内で比類ない固有性を持ち、脆弱な生態系を有する小笠原・南西諸島のみに見られる。

3. 検討項目

(1) 生態系被害

競合:希少種、有用種、生態系を構成する主要な在来種との競合が国内・外で報告されているか、同一の資源(餌・環境)を利用する。国内外の重要な生息・生育環境で高密度化、優占が知られている等。

交雑:国内に同属・近縁の在来種が存在し、交雑する、もしくはその可能性が指摘されている。

捕食:国内外の情報から在来種を大量に捕食する可能性があるかと判断される。

(2) 重要地域への侵入:国立公園や世界自然遺産地域等の原生的自然や固有種・絶滅危惧種の生息・生育する地域等、生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し、重大な影響を与える可能性がある。

(3) 人体:強力な毒を有する等、人的被害が大きいと予想される。

(4) 経済産業:国内外の事例から、野外に定着した場合に、農林水産業、社会経済等に甚大な影響を与える可能性があり、特に対応が必要となる。

(5) 利用:意図的な利用がなされており、導入・定着・拡散の可能性が高い。

(6) 流通する物資等に非意図的に混入・付着して拡散する。

侵略的外来種リスト(仮称)動物の検討対象種リスト(哺乳類)(検討作業中)

国外外来種(評価対象種)

検討作業中の案であり、本案からさらに掲載種の選定(絞りこみ)を行うもの。掲載種については、「侵略的外来種リスト(仮称)作成の基本方針」に従い、定着段階のカテゴリ区分のほか、対策優先種の選定、対策をする地域や環境等に応じたグループや産業等においてやむを得ない理由で利用されているもののグループ等の分類、付加情報の整備等を行う。

No	定着状況	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
				外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食						
1	A未定着	フクロギツネ	<i>Trichosurus vulpecula</i>	特定	IUCN		北海道											
2	B定着初期	アムールハリネズミ(マンシュウハリネズミ)	<i>Erinaceus amurensis</i>	特定			北海道、京都											神奈川県小田原市に定着
3	B定着初期	リスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	要注意														高価(50~60万円程度) 知見の集積が必要
4	B定着初期	タイワンザル	<i>Macaca cyclops</i>	特定	日本・IUCN		青森、滋賀											
5	A未定着	カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	特定	IUCN													
6	B定着初期	アカゲザル	<i>Macaca muratta</i>	特定			千葉											
7	C分布拡大期	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	特定	日本・IUCN		滋賀、兵庫、京都、鳥取、徳島、佐賀											兵庫県加西市のため池にて水生植物群落を壊滅。ベッコウトンボの減少の原因となった。
8	C分布拡大期?	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosiurus erythraecus</i>	特定			滋賀、京都、兵庫、熊本											
9	A未定着	タイリクモモンガ	<i>Pteromys volans</i>	特定			北海道、京都											
10	A未定着	トウブハイロリス	<i>Sciurus carolinensis</i>	特定	IUCN		北海道											
11	B定着初期? or A	キタリス	<i>Sciurus vulgaris</i>	特定			北海道											
12	B定着初期?	シマリス(チョウセンシマリス)	<i>Tamias sibiricus</i>	要注意			北海道、滋賀、兵庫、鳥取、愛媛											低価格(1万円程度) 知見の集積が必要
13	B定着初期	マスカラット	<i>Ondatra zibethicus</i>	特定			千葉											
14	Dまん延期	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>				北海道、千葉、京都、兵庫、鳥取、鹿児島											重要地域への侵入個体のみ対策優先種とする
15	Dまん延期	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>		IUCN		北海道、千葉、京都、兵庫、鳥取、鹿児島、沖縄											重要地域への侵入個体のみ対策優先種とする
16	Dまん延期	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>		IUCN		北海道、千葉、京都、兵庫、鳥取、沖縄											
17	A未定着	カニクイアライグマ	<i>Procyon cancrivorus</i>	特定			滋賀											
18	C分布拡大期?	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	特定	日本・IUCN		北海道、青森、千葉、滋賀、京都、兵庫、鳥取、徳島、佐賀、鹿児島											
19	A未定着	フェレット	<i>Mustela lutro</i>	要注意			北海道、千葉、兵庫、愛媛											知見の集積が必要
20	C分布拡大期?	アメリカミンク(ミンク)	<i>Mustela vison</i>				北海道											
21	C分布拡大期?	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				北海道、青森、千葉、愛媛、滋賀、京都、兵庫、鳥取、佐賀											
22	B定着初期	フィリマンゲース	<i>Herpestes auropunctatus</i>	特定	日本・IUCN		鹿児島、沖縄											日本定着個体の所属見直し(ジャワマンゲース 本種)
23	A未定着	ジャワマンゲース	<i>Herpestes javanicus</i>	特定	日本・IUCN													
24	A未定着	シママンゲース	<i>Mungos mungos</i>	特定														
25	A未定着	アキシスジカ属	<i>Axis</i>	特定			京都(シカ亜科として)											
26	B定着初期	シカ属(国内産ニホンジカを除く)	<i>Cervus</i>	特定	IUCN		京都(シカ亜科として)											世界のワースト100で選定されているのはアカシカ
27	A未定着	ダマシカ属	<i>Dama</i>	特定			京都(シカ亜科として)											
28	A未定着	シフソウ	<i>Elaphurus davidianus</i>	特定			京都(シカ亜科として)											国際的な希少動物であり、極限られた動物園で飼育されているのみである。そのため、野外に逸出する可能性はほとんどないと考えられる。
29	B定着初期	キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>	特定			千葉											

国外外来種(その他の検討対象種)

No	定着状況	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
				外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食						
30	B定着初期	ナンヨウネズミ	<i>Rattus exulans</i>															
31	A未定着	アメリカモモンガ	<i>Glaucomys volans</i>				北海道											やや高価(5~7万円程度)
32	A未定着	オオアメリカモモンガ	<i>Glaucomys sabrinus</i>				北海道											やや高価(5~7万円)
33	A未定着?	オグロプレーリードッグ	<i>Cynomys ludovicianus</i>				千葉											高価(30万円程度)
34	A未定着?	ギンギツネ					愛媛											
35	C分布拡大期?	ジャコウネズミ	<i>Suncus murinus</i>				鹿児島											
36	A未定着?	ナミハリネズミ	<i>Erinaceus europaeus</i>				北海道、京都											やや高価(3万円程度)
37	B定着初期?	ハリネズミ科(エリナケウス属)の全種	<i>Erinaceidae</i>				北海道											
38	A未定着	フクロギツネの一種	<i>Trichosurus spp.</i>				北海道											
39	A未定着	フクロモモンガの一種	<i>Petaurus spp.</i>				北海道											普通個体はやや高価(3万円程度)

No	定着状況	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
				外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食						
40	B定着初期	プレーリードッグの一種	<i>Cynomys</i> spp.															高価(30万円程度)
41	A未定着	ワラビー類	<i>Macropodidae</i> sp.															高価(20万円程度か)

国内・家畜由来の外来種(評価対象種)

No	定着状況	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
				外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食						
1		タヌキ(ホンダヌキ)	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>				鹿児島											国内由来(屋久島) 知見の集積が必要
2		ニホンテン	<i>Martes melampus</i>				北海道											国内由来(北海道、佐渡) 佐渡では順化ゲージに入れられていたトキが被害にあった
3		チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>			日本・IUCN	滋賀、京都、兵庫、鳥取、愛媛、熊本、鹿児島											国内由来 知見の集積が必要
4		ニホンイタチ	<i>Mustela itasis</i>				北海道、鹿児島、沖縄											国内由来(伊豆諸島、トカラ列島)
5		イノシシ	<i>Sus scrofa</i>				北海道、千葉、鹿児島											国内由来
6		ブタ(イノブタ)	<i>Sus scrofa</i>			日本・IUCN	北海道、滋賀、兵庫、京都											
7		カイウサギ(アナウサギ)	<i>Oryctolagus cuniculus</i>			日本・IUCN	北海道、千葉、京都、愛媛、熊本、鹿児島、沖縄											
8		ヤギ	<i>Capra hircus</i>			日本・IUCN	愛媛、佐賀、鹿児島、沖縄											家畜由来(トカラ列島、奄美大島)

国内・家畜の由来外来種(その他の検討対象種)

No	定着状況	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
				外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食						
9		ノイヌ	<i>Canis familiaris</i>				北海道、千葉、滋賀、京都、兵庫、鹿児島、沖縄											
10		ノネコ(イエネコ)	<i>Felis catus</i>			日本・IUCN	北海道、千葉、滋賀、京都、兵庫、鹿児島、沖縄											
11		イエコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>				北海道											国内由来
12		キタキツネ					愛媛											国内由来
13		ニホンジネズミ	<i>Crocidula dsinezumi</i>				北海道											国内由来
14		ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>				鹿児島											国内由来(口之永良部島)

侵略的外来種リスト(仮称)動物の検討対象種リスト(鳥類)(検討作業中)
国外外来種(評価対象種)

検討作業中の案であり、本案からさらに掲載種の選定(絞りこみ)を行うもの。掲載種については、「侵略的外来種リスト(仮称)作成の基本方針」に従い、定着段階のカテゴリ区分のほか、対策優先種の選定、対策をする地域や環境等に応じたグループや産業等においてやむを得ない理由で利用されているもののグループ等の分類、付加情報の整備等を行う。

No	定着状況	目名	和名	学名	抽出方法				定着可能性			生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
					外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食摂食							
1	A未定着	スズメ目	シリアカヒヨドリ	<i>Pycnonotus cafer</i>	要注意	IUCN														我が国での確認報告事例はない。
2	A未定着	スズメ目	外国産メジロ	<i>Zosterops</i> sp.	要注意			京都												大陸産亜種 中国や東南アジア産の種の輸入は減少した(中国:禁輸政策、東南アジア:鳥インフルエンザの流行)ものの、アフリカ産の近縁種(キクメジロ(アフリカヤマメジロ)、キヨメジロの名前で流通、キクメジロの方がやや高額)が輸入されるようになった。 知見の集積が必要
3	B定着初期/限定分布	キジ目	コリンズウズラ	<i>Colinus virginianus</i>	要注意			京都、徳島												知見の集積が必要
4	C分布拡大期	キジ目	インドクジャク	<i>Pavo cristatus</i>	要注意			徳島、愛媛、沖縄												
5	C分布拡大期	スズメ目	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	特定	日本		熊本												分布拡大中
6	C分布拡大期	スズメ目	カオジロガビチョウ	<i>Garrulax perspicillatus</i>	特定															
7	C分布拡大期	スズメ目	カオジロガビチョウ	<i>Garrulax sannio</i>	特定															
8	C分布拡大期?	スズメ目	ヒゲガビチョウ	<i>Garrulax cineraceus</i>	未判定			愛媛												知見の集積が必要
9	C分布拡大期	スズメ目	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	特定	日本		京都、兵庫、高知、徳島(剣山山系/阿南市蒲生田峠)、熊本、宮崎、鹿児島(霧島・紫尾山周辺)												分布拡大中
10	C分布拡大期?	スズメ目	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i> ssp.		日本		沖縄												亜種不明:シロガシラ 定着の由来(自然分布、人為分布)が確定していない
11	C分布拡大期	カモ目	オオカナダガン	<i>Branta canadensis moffitti</i>	要注意			千葉(亜種指定無し)												
12	C分布拡大期	カモ目	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus himantops mexicanus</i>	要注意			京都												
13	Dまん延期?	キジ目	コウライキジ(大陸産亜種)	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>		日本		北海道、千葉、愛媛、鹿児島(与論島)、沖縄												北海道では生息数減少。2013年、石垣市では農作物被害が拡大(新聞記事)。

国外外来種(その他の検討対象)

No	定着状況	目名	和名	学名	抽出方法				定着可能性			生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
					外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食摂食							
14	A未定着?	スズメ目	コウラウン	<i>Pycnonotus jocosus</i>																
15	A未定着?	スズメ目	コシジロキンバラ	<i>Lonchura striata</i>																
16	A未定着?	スズメ目	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>				京都、鹿児島(国分干拓、糸田川)												
17	C分布拡大期	スズメ目	ハッカチョウ	<i>Acridotheres cristatellus cristatellus</i>				京都、兵庫												兵庫県では定着し安定して繁殖している
18	A未定着	スズメ目	インドハッカ	<i>Acridotheres tristis</i>		日本														
19	B定着初期/限定分布	スズメ目	カササギ	<i>Pica pica</i>				北海道(国内)、兵庫												
20	B定着初期/限定分布?	スズメ目	シマキンバラ(アミハラ)	<i>Lonchura punctulata</i>				鹿児島(徳之島)												定着の由来(自然分布、人為分布)が確定していない
21	B定着初期/限定分布	カモ目	コクチョウ	<i>Cygnus atratus</i>				北海道												
22	C分布拡大期	カモ目	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>				北海道、青森、千葉、愛知、京都、鳥取												
23	B定着初期/限定分布	キジ目	テッケイ(タイワンコジュケイ)	<i>Bambusicola thoracicus sonorivox</i>																兵庫県にのみ定着
24	C分布拡大期?	インコ目	オオボンセイインコ	<i>Psittacula eupatria</i>																
25	C分布拡大期?	インコ目	(ワカケ)ボンセイインコ	<i>Psittacula krameri (manillensis)</i>				千葉												安定して繁殖しているが、顕著な分布拡大などは報告されていない
26	Dまん延期	ハト目	カワラバト	<i>Columba livia</i>		日本		北海道、青森、千葉、京都、兵庫、鳥取、熊本												
27	B定着初期/限定分布	ハト目	シラコバト	<i>Streptopelia decaocto</i>																国の天然記念物、埼玉県の鳥に指定されている。近年、減少傾向にあり、H24に埼玉県が生息状況を調査し、生息数が少ないことが判明。

No	定着状況	目名	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
					外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食摂食						
28	Dまん延期	キジ目	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus thoracicus</i>				北海道、千葉、京都、鳥取、熊本											御蔵島のアカコッコの減少に影響している可能性

国内・家畜由来外来種(その他の検討対象種)

No	定着状況	目名	和名	学名	抽出方法				定着可能性		生態系被害			重要地域	人体	経済産業	利用	付着混入	備考
					外来法	W100	GISD	各県	生物	導入	競合	交雑	捕食摂食						
1		カモ目	アイガモ				北海道、兵庫												
2		カモ目	アヒル				千葉、京都、兵庫												
3		キジ目	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>			鹿兒島(トカラ列島、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島)、沖縄												
4		キジ目	ヤマドリ、ウスアカヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i> , <i>Syrnaticus soemmerringii subrufus</i>			北海道												亜種:ヤマドリ、ウスアカヤマドリ 1974年ごろ北海道に放鳥された。現状の生息状況不明(消滅している可能性アリ)